

第5戦 9月25日(日)

村上

2005ジャパンカップもいよいよ終盤戦に突入。
グランプリの座をかけた熾烈な争いに拍車がかかり、
その勢いはレースをさらに盛り立てる。
今シーズンの行方を占う重要な一戦、
チャンピオンシップに近づくのは誰なのか。



城下町が トライアスロン一色に 沿道の声援を力に変えて



NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦

2005ITUインターナショナルイベント村上大会
2005村上・笹川流れ国際トライアスロン大会

絶好のロケーション

NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦・2005ITUインターナショナルイベント村上大会は、秋が色づき始める9月25日(日)に開催される。

沿道には毎年数多くの観衆が集まり、選手たちはその声援に後押しされながらフィニッシュゲートを目指す。

さらに、村上ならではの風光明媚なロケーションは戦いに挑む選手たちの心を癒し、パワーを与える。恵まれた環境が用意された村上の地で、今年は何んなドラマが待ち受けているのか。ラストスパートをかける選手らの熱い戦いは見る者に勇気と感動を与えてくれる。

着実に力をつけた若手陣

昨年は男女ともに若手中心の大会となった。9時30分スタートの男子は、グラハム・オグラディ(NZL)、セス・ウェリング(USA)ら海外勢と日本の細田雄一(グリーンタワー・稲毛ITC)、高濱邦晃(日本食研)らがデッドヒートを繰り広げた。ほぼ同時にスイムを終えバイクへと移ると、これ

ら4人を含む10名の第1集団が終始リードしランへ。ランに入るとまず細田が抜け出し、続いてウェリング、オグラディが続いた。残り1km地点でラストスパートをかけたオグラディが優勝、次いでウェリング、細田は3位に入った。

一方女子は、バイク序盤から上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)、高木美里(湘南ベルマーレ)、下村真紀(NSI)、ローレン・グロブス(CAN)らがリードを続け、ランに入っても安定した走りを見せた上田が優勝。2位にグロブス、3位に高木となった。

本領を發揮する時

昨年の村上大会をはじめジャパンカップ全体を通じて感じたことは、若手が着実に実力を身につけているということ。アテネ・オリンピックに出場できなかった悔しさをバネに、彼らは北京を見据えたトレーニングを積み重ね、その成果を確実にレースに反映していた。新たなスタートとなる今年、村上のレースをより一層盛り上げるために、若手のさらなる活躍は必要不可欠だ。

またここ村上では、2009年の新潟国体でトライアスロン競技が実施される予定である。

Start エリート:男子9:30 女子9:35
国際大会:9:50
距離 エリート/国際大会:51.5km
(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)
テレビ放映 新潟総合テレビ(2004年実績)
Web <http://www.iwafune.ne.jp/triathlon>
問い合わせ 〒958-0837新潟県村上三之町13-25
村上市体育館内
TEL0254-53-3399 FAX0254-52-6154
特別協賛 NTT東日本

歴代チャンピオン

女子	男子
1995 キャシー・ステッツ(USA)	アンドリュー・ケルシー(USA)
1996 ワン・ダン(CIN)	山口 博久(埼玉県連合)
1997 半田 恵理(東京女子体育大学)	マイケルトリーズ(チームテイケイ)
1998 マリベル・ブランコ(ESP)	ホセ・バルバニー(ESP)
1999 平尾 明子(東京都連合)	マイルス・スチュワート(AUS)
2000 小梅川雪絵(チームテイケイ)	西内 洋行(チームテイケイ)
2001 中西真知子(NTT東日本)	カートニー・アトキンソン(AUS)
2003 キャロライン・マレー(CAN)	ドヨリー・ガーグ(KAZ)

2004Result

女子	1	上田 藍(グリーンタワー・稲毛ITC)	2:00:17
	2	ローレン・グロブス(CAN)	2:00:36
	3	高木 美里(湘南ベルマーレ)	2:02:13
男子	1	グラハム・オグラディ(NZL)	1:48:32
	2	セス・ウェリング(USA)	1:48:40
	3	細田 雄一(グリーンタワー・稲毛ITC)	1:48:44

Map

